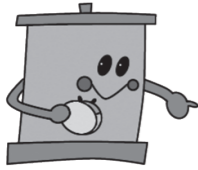


はえずなんぼや？



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://nji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などできます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《7月の休館日》2日(木)、9日(木)、16日(木)、23日(木)、30日(木)

2026年7月1日より電子書籍サービスが始まります！
 くわしい情報は、ホームページに掲載いたします。ご確認ください。

ご寄贈ありがとうございました

作家・岩室忍さんは大石田町出身の歴史小説家で、多くの歴史ファンから支持を得ています。町内出身の作家さんを町民の皆様にご紹介していただくとともに、高橋道雄様からご寄贈いただきました。

作家・岩室忍さん
 歴史小説家で、多くの歴史ファンから支持を得ています。町内出身の作家さんを町民の皆様にご紹介していただくとともに、高橋道雄様からご寄贈いただきました。

岩室忍 展中
 ～他にも著書多数あります～

図書館をもっと身近に暮らしの中に
 ～としよかんへ、気軽にきてね～

- 文字を大きくして読める機器や文字の大きな本があります！
- 多少のおしゃべりはOK！友達や家族とみなさんでどうぞ(2階は比較的静かに使えます)
- フタ付の飲み物は館内で飲めます
- 意見箱設置中！皆様の声をお寄せください
- PC用コンセント有(6席) Wifi完備

今月は、どの本を読む？

『日本史のなかの兄弟たち』
 (安藤 優一郎 // 著 中央公論新社)
 ナンバー2として兄を支えた弟の視点から、兄弟の関係が日本史を動かした事例に注目。戦国時代を中心に、そんな兄弟の関係から浮かび上がる歴史の真実を解き明かし、現代にも参考になるような教訓を引きます。

『とみーのきらめきレジンアクセサリー』
 (とみー // 著 プティック社)
 ねこと青空、時をなぞる月、春風と踊る桜、海のしずく…。空や風景、季節のきらめきを閉じ込めたレジンアクセサリー38点を紹介し、作り方を写真で丁寧に解説します。動画を視聴できるQRコード付き。

『あしたやさしくなれますように may tomorrow be a kinder day』
 (はしもと みお // 著 小学館)
 動物たちのたましいや思い出を遺す彫刻家・はしもとみおが、ともに芸術家を目指した親友へ贈った手作りの本をもとにした、初めてのペン画文集。さまざまな動物たちのイラストに、心が軽くなるメッセージを添える。

『カッパおんせん、あわあわあわ』
 (片平直樹 // 作、高島 那生 // 絵 ひさかたチャイルド)
 ぼくが湯船にのんびりつかっていたら、お父さんがぐったりしたカッパを抱えて風呂場に飛び込んできた。「頭の血に水をかけるんだ！」助けられたカッパは、お礼にと石鹸をあわ立てはじめ…。お風呂に入りたくなる絵本。

※紹介文は「TRC MARC」より引用。すべて町立図書館蔵書。

閉校記念大運動会を開催しました！

令和9年4月の小学校統合に向け、町内3小学校では5月30日(土)に「閉校記念大運動会」を開催しました。

当日は、地域と学校のつながりを感じられる内容を企画し、多くの地域の皆様にご参加いただきました。記念写真撮影や地区対抗競技などを実施し、世代を超えて交流を深めながら、大いに盛り上がる一日となりました。

現在も閉校に向けた準備を進めており、各学校の閉校記念式典は次の日程で開催を予定しています。



- 【閉校記念式典】**
- ・大石田北小学校 令和8年11月7日(土)
 - ・大石田小学校 令和8年11月14日(土)
 - ・大石田南小学校 令和8年11月21日(土)

このほかにも、各校の特色を生かした学校見学会や記念コンサートなど、思い出に残るさまざまな企画を計画しています。開催前には改めてお知らせしますので、ぜひご参加ください。

■教育文化課 学校教育グループ ☎35-2111(内線252)

町長コラム

「次世代へ虹をかける」

『朝ドラの風、大石田へ』

vol.30

こんにちは！田植えも終わり、青田から吹き抜けてくる風が心地よい季節となりました。スイカの出荷時期が目前となり、今年も豊作、高値安定を期待しているところです。寒暖差が大きい季節ですのでお身体に気をつけてお過ごしください。

さて、先日2028年春のNHK連続テレビ小説で、斎藤茂吉さんの妻・輝子さんをモデルにした物語が放送されるとの発表がありました。茂吉さんといえば、戦後、大石田町に疎開し、聴禽書屋で暮らしながら最上川や雪、山々、そして町民とのふれあいの中で多くの歌を詠みました。輝子さんが主役ではありませんが、大石田町がロケ地としてぜひ選ばれてほしいと思います。

以前、町長コラムでも紹介しましたが、茂吉さんを支えた大石田の人々について、息子の茂太さんは「この町の方々の計り知れない善意に心うたれる。それは真綿のように軟かく

暖かい。その真綿に包まれて、父は誰に遠慮することなく思いきり山形弁を喋り、人びとに甘えることができた。」と町に寄稿してくださいました。ドラマの中でも、そんな茂吉さんの姿と何よりも「真綿のよう」に軟らかく暖かい大石田町民の心が表現されることを願っています。

また、町では今年度から「虹ヶ丘」の再整備を始めています。ドラマ放映をきっかけに、多くの方々が大石田を訪れ、虹ヶ丘や聴禽書屋、最上川の風景、そしてそばの里の魅力に触れていただければと思います。

この機会を一過性の話題で終わらせることなく、町を訪れた方々に、大石田の歴史、文化、そして人の温かさにも触れていただき、その魅力を全国へ発信していければと思います。

大石田町長 庄司 中

